組合ニュース

第　１５１４０　号
2017 年 4 月 4 日(火)
新日鐵住金和歌山労働組合
組　織　教　宣　部

WAKAYAMA WORKERS' UNION

代表内線番号　和歌山地区(本部)　(54)-3590　堺地区　652990　海南地区　(54)-5555
組　合　ＨＰ　http://nssmwu.jp/

第９回中央委員会報告

【日時】3 月 30 日（木）8 時 30 分～9 時 25 分
【出欠】出席 86 名、欠席 7 名、出席率 92.4%
【議長】川島氏

1. 報告事項

(1) 上部団体会議報告
・第 8 回中央執行委員会報告
・中央労使協議報告

(2) 箇所労使協議報告

【団 体 交 渉】
・2017 年度時間外及び休日労働に関する協定について

＜会社＞

議事概要（要旨）

1. 提案内容

・会社と組合との間で、「時間外及び休日労働に関する協定」を締結のこととする。(2017 年度も昨年同様) 尚、「新技術・新製品等の研究開発等」の時間外労働上限時間について以下の通り補足する。

（補足）

「新技術・新製品等の研究開発等」の時間外労働上限時間について

・2017 年度についても昨年同様、時間外労働上限時間を月間 120 時間、年間 750 時間とする。尚、当該上限時間の対象となりえる者は、課長ならびにアシスタントマネジメントグループおよびグローバルグループ技術系社員とする。

2. 適用期日

2017 年 4 月 1 日

3. 来年度以降の本協定締結について

・本年 3 月 17 日、政府・経団連・連合は、繁忙期における時間外労働の上限時間を月 100 時間未満とすることで合意し、これを受け、政府は、働き方改革実現会議の労使メンバーらの意見も踏まえ、2019 年度からの導入を目指している。当所においては、ストレスチェック「e 診断」や労働時間管理、またそれらの結果に基づく職場や個人への働きかけ等の取り組みを実施してきているが、かかる状態を踏まえ、現在の組織・個人における仕事の仕方等の見直しも含め今後一層強化していく必要があると認識しているところである。

・当所としては、こうした取り組みを推進することに加え、労働基準法の改正を見据えて、本協定における時間外労働の上限時間のあり方についても検討していくこととする。

＜組合＞

議事概要（要旨）

・本協定においては、部門ごとの労働者数は適正に設定されており、別途協定における「特別条項」および「時間外労働の限度に関する基準の適用除外となる業務」についても、これまでの実態を踏まえた対象人員に設定されていると理解したところである。また、延長時間については、これまで締結してきた内容と比較しても、考え方に変更はないものと認識している。

・よって、2017 年度「時間外及び休日労働に関する協定」については、特段問題ないものと判断し、会社提案内容をもって了承する。

・ただし、会社も述べている通り、政府・経団連・連合は繁忙期における時間外労働の上限時間を月 100 時間未満とすることについて、2019 年度からの導入をめざしている。

・組合としては、こうした労働時間短縮に対する社会的な趨勢も踏まえ、本協定における時間外労働の上限時間について会社と十分に議論し、来年度以降見直す必要があると考えていることを申し述べておく。

【労使協議会】
・2016 年度 4/四期合理化案件について(その 2)
・2017 年度 1/四期要人員計画
【経営委員会】
・2017 年 4 月 1 日付組織改正について
・2017 年 4 月度生産計画について
・2017 年度第 1 四半期経営委員会
【事 務 説 明】
・八幡製鐵所への応援派遣について
・鋼管部　冷間製管工場への応援派遣について
・2017 年 5 月払（2017 年 4 月分）以降の通勤交通費支給額に関する件（和歌山・海南地区）
(3) 支部長安全研修会報告
(4) 4 月度日程について

2. 審議事項
(1)「第 88 回メーデー」への対応に関する件(案)

報告事項 4 件、異議なく承認
審議事項 1 件、満場一致で可決決定

支部長安全研修会を実施

和歌山労組は 2017 年度安全活動の一環として、去る 2 月 24 日（金）14 時 00 分から和歌山人材育成センターにおいて、支部長並びに執行部の計 25 名が参加のもと支部長安全研修会を実施しました。

冒頭、和歌山労組の副組合長である中濱安全統轄から挨拶があり、「安全活動は労働福祉の原点であると同時に、安全成績は製鐵所の評価の指標にもなることから、労使一丸となり取組む最優先課題でもある。和歌山製鐵所は昨年、初めて年間休業災害ゼロを達成したが、今年に入り軽処置災害が頻発しており、これらを警鐘と受け止め、災害防止に努めて頂きたい」と述べられました。


中濱安全統轄

次に、歌野労働対策部長から、「2017 年度安全取組みについて」と題し、顔の見える安全活動を基本とした執行部安全巡視や年末年始・夏期における安全強化活動などの計画ならびに実施状況について報告しました。


平石安全健康室長

続いて、会社より平石安全健康室長を講師としてお招きし、「全社と和歌山製鐵所の安全管理状況」「安全に関する重点取組み」「安全衛生管理基準」「安全衛生活動方針」の 4 点について講演して頂き、理解を深めました。

その後、3 班に分かれて「作業内容変更時の変更ＫＹの実態と課題・対策」「繰り返し災害防止に向けた対策について」「発注工事に対する安全管理について」の 3 点に絞りグループ討論を実施しました。「安全活動はどうあるべきか」という課題を中心に、グループの中で活発な意見が交わされ、「支部長として現場の実態を把握する」「現場第一線の作業者と職制の架け橋となる」等の意見が出され、大変有意義な討論となりました。


討論の様子

翌日には討論で出された内容をまとめ、結果発表を以って支部長安全研修会を終了しました。


発表を行う平野支部長

労働組合としては、本研修会で出された本音の意見を今後の安全活動に活かし、更なるレベルアップを図るとともに、積極的な安全活動を展開しいきます。

和歌山市労福協、金属部門連絡会主催の『ボウリング大会』に参加

和歌山市労働者福祉協議会(和歌山市労福協)が主催する「チャリティーボウリング大会」が、去る 3 月 2 日(木)18 時 30 分から和歌山グランドボウルにおいて開催されました。当日は、労福協に加盟する構



成組織から 56 名の方が参加され、当労組からは、中濱副組合長以下執行部が対応しました。

本ボウリング大会は 500 円を上限に、ストライクおよびガーター1 回につき 100 円がチャリティー金として課せられ、徴収したお金は和歌山市社会福祉協議会に寄付されることとなっています。

ゲーム開始のホイッスルと共に一斉にスタートし、皆さんはペナルティーがあるにも関わらず真剣にストライクを狙い、ハイスコアを目指しボウリングを楽しまれていました。一方、ガーターをとってしまった方も潔くチャリティー金を支払われるなど、和気あいあいとした雰囲気のなか行われました。

最後に、事務局より「かなりの金額が集まりました。和歌山市発展のために、寄付してまいります」とのお礼の挨拶があり、チャリティーボウリング大会は閉会しました。


池田議長

また、去る 3 月 6 日(月)には、和歌山インターボウルにおいて、連合和歌山の金属部門連絡会が主催する「2017 年春闘決起ボウリング大会」が開催され、金属部門連絡会加盟組織より総勢 69 名の方が参加し、当労組からは、池田組合長をはじめとした執行部と青年女性委員が対応しました。ゲーム終了後の表彰式では池田組合長が議長の立場で挨拶され、「今次春闘は非常に厳しい状況にあるが、この決起ボウリングのように一致団結して盛り上げをはかっていきましょう」と述べられました。その後、阪本幹事（鴻池運輸和歌山労働組合組合長）の力強いご発声でガンバロウ三唱が行われ、ボウリング大会は閉会しました。

今後も当労組は、各構成組織の方々と交流を図るとともに、互いに協力して地域の活性化に資する活動へ積極的に参加していきます。



※労働者福祉協議会（労福協）とは

勤労者と家族の暮らしや福祉向上のため、労働団体や労働者福祉事業団体と緊密な連携を取りながら、政策・自主福祉活動などの取組みを実施し、中央労福協をはじめ地域労福協など全国に構成されている組織です。

※金属部門連絡会とは

連合和歌山にある部門連絡会の一つであり、ものづくりの中でも「金属」を扱う産業が加盟する組織から構成され、情報共有や共同活動を実施しています。

海南地域労福協主催『デザートづくり教室』に参加

海南地域労働者福祉協議会（海南労福協）が主催する「デザートづくり教室」が、去る 3 月 7 日（火）18 時 00 分から和歌山マリーナシティホテルにおいて開催されました。

冒頭、中濱会長（当労組副組合長）から「女性参加事業の一環として毎年様々な活動を計画しており、今回はデザート作り教室を計画しました。我々の上部団体である連合でも、女性の組合への参加率 30%を目標に取組んでおり、海南労福協でも今後女性が参加しやすい環境を整え、積極的に参加を求めていきたいと考えています」との挨拶がありました。


ロールケーキ作りの様子

まずは、マリーナシティホテルのレストランで勤務されているパティシエの方が講師となり、「デザートづくり」の実演が行われ、本教室ではロールケーキを作成しました。講師の方の流れるような作業と、見事な手際で仕上げていくパティシエの技にどよめきが上がっていました。



次に、参加者の中から 3 人が、実際にロールケーキ作りに挑戦し、生クリームを塗る作業やスポンジケーキを巻いていく作業を体験しました。やはり慣れていないこともあり四苦八苦されていまし

たが、出来上がりのロールケーキを見て非常に満足されている様子でした。その後試食会が行われ、先ほど作ったロールケーキが参加者に振る舞われると、皆さん美味しそうに召し上がっていました。

最後に、政藤副会長（関西電力労働組合）から閉会の挨拶が述べられ「デザートづくり教室」は盛会のうちに終了しました。

『U・遊シアター』を開催

3 月 18 日(土)10 時 00 分から組合会館大会議室において、余暇対策の一環である春休み企画「U・遊シアター」を開催しました。

「U・遊シアター」は、人気作品を中心に上映しており、今年度に入り 2 回目の上映となります。

今回の「ペット」は、飼い主がいない間にペットたちが巻き起こす騒動を描いた作品となっています。

当日は、組合員のご家族・お子様を含め総勢 49 名の方に参加頂き、館内では上映を心待ちにしていた元気いっぱいの子ども達で賑わいを見せていました。スクリーンに映像が流れると、お子さんと一緒に参加したご両親も、食い入るように映像を見て楽しまれていました。

上映終了後には、お子様にお菓子を配り、受け取ったお子様からは「ありがとう！」という元気な返事があり、満足そうに帰っていかれました。

次回の「U・遊シアター」は夏休み期間中を予定しています。

今後も労働組合では、組合員の余暇対策の一環として、この様な活動を継続的に実施し、ご家族共々、一緒に楽しんで頂ける様なイベントを計画していきます。



連合和歌山、連合大阪『第 88 回メーデー』開催のお知らせ

【和歌山地区】

1．日　時：2017 年 4 月 30 日（日）9 時 30 分
～15 時 00 分

2．場　所：和歌山城「砂の丸広場」

3．内　容

（1）デ モ 行 進　9：30 ～

（2）中 央 式 典　10：30 ～

（3）イベント行事　11：30 ～ 15：00

【堺　地　区】

1．日　時：2017 年 5 月 1 日（月）8 時 30 分
～10 時 30 分

2．場　所：「ハーベストの丘」

3．内　容

（1）中 央 式 典　8：30 ～

（2）福引抽選会　9：30 ～

※近隣駐車場の混雑が予想されますので、公共交通機関の利用をお願いします。

※雨天時は基本的に決行としますが、長靴・レインコート等の雨対策をお願いします。

『釜石支援カンパ』に対するお礼が届きました

「釜石支援カンパ」については、昨年も年末助け合いカンパの一環として実施し、組合員ならびに賛同していただける方々に心温まるカンパのご協力をいただきました。

皆様にご協力いただいた釜石支援カンパ金は、東日本大震災で被災された組合員の方々への義援金として、昨年 12 月 27 日(火)に新日鐵住金釜石労働組合へ送らせていただきました。

釜石労組組合員の方からは、「6 年も経つのにありがとう」「組合には助けられる」などの感謝のお言葉が寄せられています。労働組合の原点である助け合いの心を形とした本取組みに対する皆様のご理解とご協力に心から感謝を申し上げます。

このたび、釜石労組の三浦組合長から池田組合長に対し義援金のお礼が届きましたので、次ページに原文を掲載させていただきます。

2017年3月吉日

新日鐵住金和歌山労働組合
組合長　　池田　祐輔　様

新日鐵住金釜石労働組合
組合長　　三浦　一泰

東日本大震災津波復興支援　義援金のお礼

謹啓　早春の候、新日鐵住金和歌山労働組合におかれましては、益々ご隆盛のこととお慶び申し上げます。

さて、和歌山労働組合の皆様には、東日本大震災津波発生から今日に至るまで物心両面にわたり心温まるご支援を頂戴するとともに、昨年12月末には、組合員の皆様の心のこもった義援金を届けて戴きました。

あの悪夢のような東日本大震災津波から本年3月11日で6年が経過いたしました。

釜石労働組合は、本年が仏教でいう7回忌ということを踏まえ、これまで釜石労組に寄せられていた義援金を活用し、亡くなられた組合員やご家族へは、香典として「フラワーギフト」を手交させて戴きました。また、引っ越しなどの生活復興に使って戴きたいとの思いから「生活応援費」を被災された皆さんへ手交させて戴きました。

被災された組合員はもとより非組合員やご家族の方々からは、「大震災から6年が経過しているにもかかわらず、このような支援を戴き感謝しています。いつも寄り添って戴き感謝しています。このように支援してくれるのは組合だけです。」などの感謝の声が上がっています。

釜石労働組合を代表し感謝申し上げます。誠にありがとうございました。

釜石市の復興計画は、平成23年度から平成32年度までの10年間で、前期3年、中期3年、後期4年の計画で工事が進められています。

本年は、中期3年の最終年ということもあり、予定している復興工事のほとんどが着工となっています。しかしながら、人手不足、人件費の高騰、資材の高騰などによって、工事が当所計画より遅れているのが現状です。

とりわけ、生活復興に欠かせない大規模なかさ上げを伴う区画整理事業、山を切り崩す高台移転促進事業などが大きく遅れているため、津波の前に住んでいた地域へ帰りたいと思っている方々は、住宅を建てることが出来ず仮設住宅等で不便な生活を余儀なくされているのが現状です。

このように津波で自宅を流出された方々に充てられる宅地や災害公営住宅等の整備遅れにより、仮設住宅で不便な生活を余儀なくされている方々と普通の生活を取り戻した方々との間に2極化が益々進んでおり、被災地ですら「大震災の風化」が懸念されているところです。

こうしたことを考えると被災された方々の本当の生活復興や地域の復興には、長い時間を要すものと考えられることから、今後も被災された方々にしっかり寄り添った活動の展開や組合員を含めた釜石市民が安心して暮らせる街づくりを早期に進めることが求められています。

釜石労働組合は、皆様から戴いた支援や激励を心の糧に今後も全力で各種活動に取り組み、組合員等の早期生活復興や釜石地域の早期復興に向け全組合員が一丸となって頑張る所存です。

末筆ながら組合員の皆様のご健勝とご多幸、和歌山労働組合のご発展をお祈りし、略儀ながら書中をもってお礼に代えさせて戴きます。

謹白

『ろうきん』からのお知らせ





会員組合員限定のカードローンです。お引き出しや繰り上げ返済は全国のコンビニ・提携銀行の ATM でいつでも可能です。







☆お問い合わせ先：ろうきん河西支店
TEL. 073-452-1381

『全労済』からのお知らせ

持ち家でも、賃貸でもニーズに合わせて選べる住宅と家財の保障「全労済の住まいる共済」。



全労済の 住まいる共済

保障のことなら 全労済

☆お問い合わせ先：全労済和歌山県本部
TEL. 073-425-6031

☆平日の 12 時～15 時の間、組合会館に全労済の窓口を開設していますので、お問い合わせは上記時間中に組合会館（内線：3590）へお電話下さい。